校長の生徒・先生応援日記　Vol.33

学びの匂い

君たちはどう生きるか

朝の身支度は、ルーティン化されているとはいえ、誰でも慌ただしくなるものです。朝食を食べながらでも、意識が準備に集中するためでしょうか、テレビから聞こえる声も、単なる音となって流れているかのように感じます。それでも私は、星座や血液型で運勢を占うコーナーが始まると、テレビの画面に釘付けになります。自分の星座や血液型で今日一日が運のいい人と診断されようなら、眠気も吹っ飛ぶのです。世の中には、私と同じ星座や血液型の人が数えきれないくらい存在し、何の根拠もないと理解するものの、「今日は良いことがある。」この思い込みで一日を過ごします。金銭が落ちていないかと足元ばかりに気を取られたり、駅前の宝くじ売場前で立ち止まったりと、私の心は完全に揺さぶられてしまうのです。

心理学的には、バーナム効果と呼ばれており、誰にでも当てはまる一般的な特徴や説明を「自分だけに当てはまる」と勘違いしてしまうことだそうです。聖書の教えには、「信じる者は救われる。」とありますが、何の変化もないまま帰宅した時には、上機嫌で過ごせたことへの思いはあるものの、毎回期待してしまう自分の不甲斐なさを感じています。

さて、この度、本校は、デジタル成長分野を支える人材育成の抜本的強化校（DX ハイスクール）に文部科学省より採択され、特色ある学校として、また一歩踏み出すこととなりました。

早速、情報科目の授業を参観してみると、生成系 AI を活用した学びを展開しており、新しい時代の幕開けを感じます。人工知能は、今後、私たちの生活の一部となり、日々精度が高まっていくことで、人間の思考を超えた能力を発揮すると言われています。しかし、人の考えや判断に頼らない生き方が定着することは、手放しでは喜べません。

なぜなら、人が思考する機会を失えば、自分の意志を持つことなく、他者や他力に頼る生き方へと変わっていくのではないかと感じるからです。

例えば、１日を占う運勢に限らず、手相やおみくじでさえ、自分は信じないと決意しても、幸運と言われたり、大吉を見事に引き当てたりすれば、誰でも嬉しくなり、言われたとおりの行動となってしまうことがあるはずです。人は、確かな事実を否定することができませんが、曖昧な概念へは、責任を持たずして肯定の考えと導いてしまう傾向があります。AI の示唆する未来も、占いと同じようにあくまでも予想です。ただし、占いごとと違い、多くのデータを基に計算されているだけではなく、コンピューターが人間の様に自ら学ぶ技術があることは、いつしか「依存」を超えた「支配」へと変わってしまうのではないかと不安になるのです。このことからも、人工知能は、世の中の利便性を高めていくことと予測できますが、活用に当たっては、「何をさせるか」ではなく「どのように指示を出すか」が重要になるのではないかと感じます。

授業では、生成 AI を一人の仲間としてグループの輪に入れ、「本校の魅力を伝える方法」について議論しました。タブレットからは、学びの匂いは感じませんでしたが、生成 AI が導き出した答えを読み上げると、うなずく生徒、にやりと笑みを浮かべる生徒など、テクノロジーの進化に興味・関心を高めていく生徒の目は、学びの匂いとなってキラキラと輝いていました。

令和７年６月